

嘔吐物処理の方法について



●作業前に

- ・周囲にいる人を移動させる
- ・嘔吐した者への対応
- ・室内の換気
- ・物品の準備

●必要物品

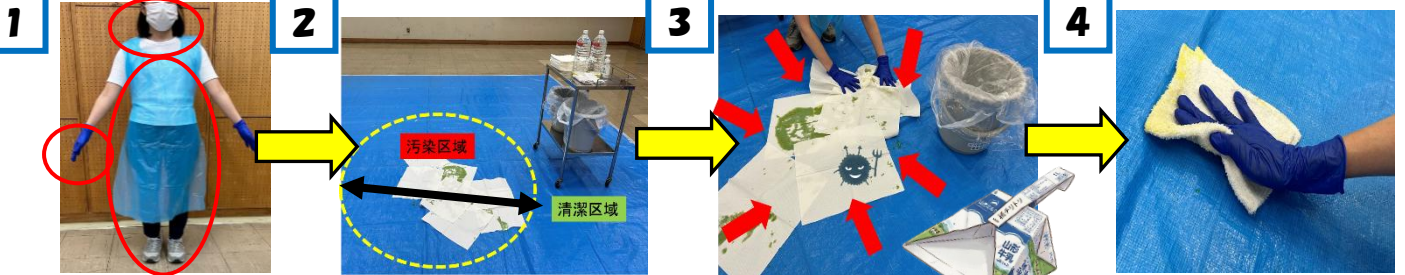
手袋(2枚/人)、マスク、エプロン、タオル、ペーパータオル、フットカバー、紙ちりとり、ビニール袋を2重に被せたバケツ2個、塩素系漂白剤 2ℓペットボトル、水 2ℓ、アルコール消毒(手指消毒用)

●次亜塩素系漂白剤

0.1%濃度の作り方

- ・5%濃度の塩素系漂白剤 40ml(※キャップ8杯分)
 - ・水 2ℓ、2ℓペットボトル
- ※ペットボトルのキャップ杯数

嘔吐物処理



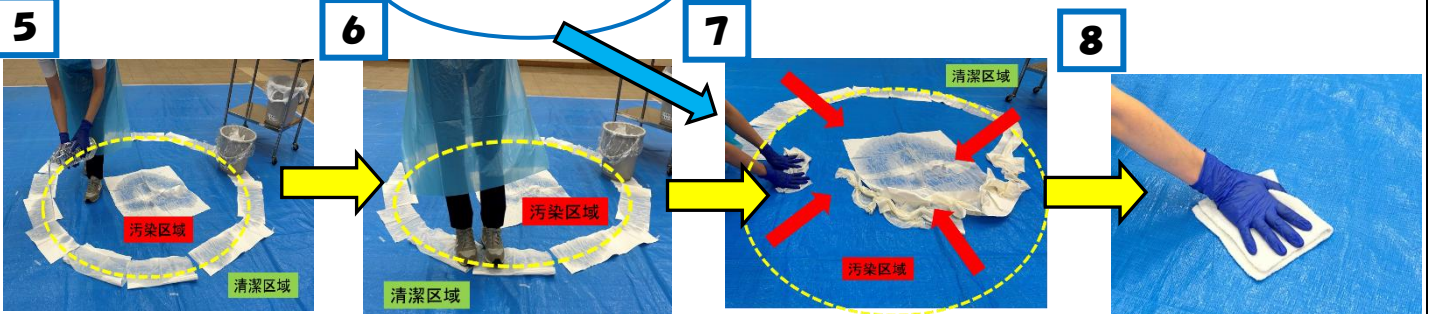
手袋2枚、マスク、エプロンを着用。汚染箇所をペーパータオルで覆う。

清潔区域に物品を並べる。
※汚染区域は約直径2mとする。

ペーパータオルや紙ちりとりで嘔吐物を中心部にかき集めて、しっかり取り除き、ビニール袋に入れる。手や膝、エプロン、ズボンの裾を床につけないように注意する。

濡らしたタオルで、汚染箇所とその周辺を外側から中心部へ拭く。拭き取り後、タオル、外側手袋の順にビニール袋に入れ、袋の口は静かにしぼる。

一度拭いた面で別の所を拭かない！



嘔吐物が付着したところと嘔吐物から半径約2mの範囲をペーパータオル等で覆い、消毒液をかける。

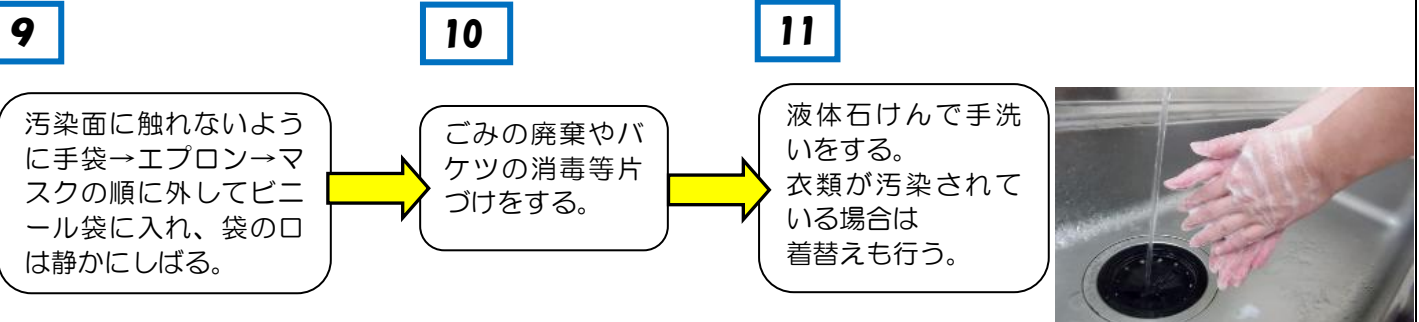
足裏とバケツの底を消毒し、清潔区域に出る。

外側から中心部に向かって同一方向に拭き取りながら床の消毒を行う。拭き取り後、ペーパータオルはビニール袋へ入れる。

嘔吐物から半径約2mの範囲を外側から中心部へタオルで水拭きする。拭き取り後、タオルはビニール袋へ入れる。

カーペット等の場合は10分程度消毒(又は熱処理)をする。
※色落ちに注意！

処理後



汚染面に触れないように手袋→エプロン→マスクの順に外してビニール袋に入れ、袋の口は静かにしぼる。

ごみの廃棄やバケツの消毒等片づけをする。

液体石けんで手洗いをする。衣類が汚染されている場合は着替えも行う。



※この方法は一例です。現場の状況に応じてやり方を検討してみてください。